

地域づくりネットワーク会議 ニュース

～ 第30号 ～

『(仮称) 大江緑道を活かした海津のふるさとづくりシンポジウム 地域住民で盛り上げる！ 堀田再生と海津マルシェ』を開催しました！！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「(仮称) 大江緑道」の魅力づくりの方策を検討していくため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

平成 26 年 10 月 5 日 (日) に、生き生きした海津のふるさとづくりをめざして、地域住民自らが智慧を出し、けん引してきた堀田の再生と海津マルシェについて、今後の展望を話しあうシンポジウムを開催しました。その内容や参加者の意見をお伝えします。

■ 『(仮称) 大江緑道を活かした海津のふるさとづくりシンポジウム』開催概要 (第 24 回 ワーキング会議)

- 開催日時：平成 26 年 10 月 5 日(日) 13:30～15:30 (入場無料)
- 開催場所：アクアワールド水郷パークセンター ホール
- 主催：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所
- 共催：海津市
- 参加者：地域住民など約 20 名
- 基調講演：岐阜県立国際園芸アカデミー造園緑化コース
准教授・博士(造園) 相田 明氏
- パネルディスカッション
- コーディネーター：大阪府立大学 大学院 生命環境科学研究科 教授・博士(学術) 藤原宣夫 氏
- パネリスト：滋賀県立大学 客員准教授・工学博士 森川 稔 氏
- ・岐阜経済大学 地域連携推進センター教授 理学博士 森 誠一 氏
- ・(仮称) 堀田を愛する会の準備会 加藤和保氏 ・海津マルシェ会議 後藤純二氏



基調講演：「地域住民による棚田、農村文化の継承と、農村を舞台とした芸術祭」

基調講演として、岐阜国際園芸アカデミーの相田 明准教授をお招きし、恵那市の坂折棚田における農文化の継承や、アートフェスティバルなどの取り組みなどを中心に、市民の手で取り組める「農を活かした地域づくり」について、お話しいただきました。



坂折棚田の風景



講演では、地域の人々が棚田の価値を発見し、発信してきたことや、「棚田オーナー」「棚田カフェ」「棚田ビオトープ」などの活動を紹介され、NPO や様々な団体が連携して農文化の伝承に取り組んでいることが、お話しされました。また、相田先生ご自身がアート作品を製作してアートフェスティバルに出展されるなど、ユニークな活動を通じて、農の文化や景観の魅力発信に取り組んでおられることが紹介されました。

●パネルディスカッション

後半はパネルディスカッションを行いました。パネリストとして、アドバイザーの先生方と、「(仮称)堀田を愛する会の準備会」「海津マルシェ会議」の地域住民メンバーに登壇いただき、(仮称)大江緑道の展望と課題についてお話しいただきました。また、会場の参加者も含めて活発な意見交換が行われました。



パネリストや一般参加者からは次のような意見が出ました。
「住民自らが地域の魅力を感じて発信していくことが大事だ。」「坂折棚田のように、堀田の背景にあるもの、地域が積み上げてきたものに、子どもたちが触れられる、そんな場ができれば良い。」「マルシェは定期的に継続していくこと、良いものを発信していくことが大事だ」「既にあるさまざまな団体・NPOの活動や、環境学習の取り組み、などをつなげて、有機的な連携に育てたい。」「もっと若い層をまきこみたい。」

シンポジウムを通じて、今後も様々な活動との連携を深めながら、皆で海津の地域づくりに取り組んでいくことが、改めて確認されました。



海津マルシェのPRとして設けた試食コーナーも好評でした

第5回 (仮称)堀田を愛する会の準備会<見学・実践編>

(第25回ワーキング会議)

堀田の稲刈り・はざかけを見学・体験しよう！を開きました

「(仮称)堀田を愛する会の準備会」では、今年6月6日の田植え(第3回準備会)にひきつづき、歴史民俗資料館のご協力により、堀田の作業を見学体験させていただきました。子どもたちの稲刈りを見学し、昔ながらの「はざかけ」を体験しました。



■概要

- 日 時：平成26年10月10日(金)
9:30~11:30
- 会 場：海津市歴史民俗資料館堀田
- 参加者：約10名
- 内容：○歴史民俗資料館の稲刈り見学、体験
○はざかけの見学、体験



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
TEL：0594-24-5719
<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>